



ましまの里

天童市立高掬小学校
学校だより No.1
令和7年4月17日
校長 鈴木博志

この4月より、高掬小学校でお世話になっております鈴木博志と申します。どうぞよろしくお願いいたします。高掬小学校の子供たちの様子や、校長としての考え、地域への思い等を、不定期で発行してまいりますので、御一読いただければ幸いです。

さて、校庭の桜もようやく満開となり、暖かな陽気が重なったこともあって、グラウンド中に子供たちの声が響いています。こうした姿を見るたび、つくづく子供たちには幸せな人生を歩んでほしいと願わずにはいられません。



8日の始業式でも子供たちに話したのですが、校長（教師）の仕事は、「すべての子供たちが幸せな人生を送れるようにするお手伝い」だと思っています。「〇〇の力を身に付ければ、絶対に幸せになれる」というものは存在しないのかもしれませんが、それでも、学力や生活力、相手を思いやる力、時間やルールを守る力など、身に付けておいた方が、幸せになる可能性は高まるはずです。その可能性を信じて、私たち教師は子供たちへ指導しています。

ところが、当の子供本人が、言われたから勉強する、怒られないようにルールを守る状態では、幸せをつかみ取るのは難しいでしょう。勉強するのも、友達と協力するのも、全ては自分の幸せへつながっているということを、子供自身が自覚していることが重要です。このような考えから、令和7年度の学校教育目標は、以下のように設定しました。

「幸せをつかむため、自ら考え行動する子供の育成」

現在、子供たちに呼びかけているのは、「あいさつ」です。あいさつができなくても幸せに生きている人はいるのかもしれませんが、相手と目を合わせ、笑顔であいさつできる人の方が、幸せな人生を送れる可能性は高まると考えます。

具体的な効果が見えるのは少し先になりますが、継続して子供たちに指導してまいります。ご家庭や地域でもご協力いただければ幸いです。